

愛知県

シニア災害ボランティア シンポジウム開催報告



平成29年1月15日(日)名古屋文理大学文化フォーラムにおいて愛知県、稲沢市と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム(いつか来る「その時」のために)」が開催されました。冒頭に主催者を代表して、加藤稲沢市長と加藤愛知県防災局長が挨拶し、続いて、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事栗田暢之氏による基調講演と各パネリストによるパネルディスカッションが行われました。

基調講演 14:10～15:10
災害に克つためのボランティア活動

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之氏



基調講演では、「熊本地震」のボランティア活動から学ぶとして、課題や問題点を浮き彫りにされ、特に、自助や共助の大切さを訴え、発生が大きく懸念される「南海トラフ大地震」に対して、災害対応力として個人の備え、地域の『絆』を作り出すことの重要性についてお話しいただきました。

パネルディスカッション 15:20～16:20
シニア世代の災害ボランティア活動と今後の課題

コーディネーター

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之氏

パネリスト

公益財団法人熊本YMCA

地域本部長 秋寄光輝氏

なごや防災ボランティア ネット 幹事 椿佳代氏

ブラザー工業(株) CSR&コミュニケーション部

シニア・チームマネージャー 岩田敏夫氏

パネルディスカッションでは、基調講演の栗田氏をコーディネーターとして、「熊本地震」の避難所の運営をされた秋寄氏、男女共同参画の視点で、防災・減災を考える椿氏、企業における会社と従業員が一体となった支援を行っている岩田氏から、それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。

基調講演とパネルディスカッションにより、会場の参加者からも、質問が出るなど、防災・減災と今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となるシンポジウムとなりました。

